

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	株式会社タングラム斑尾					
代表者名	氏名	中村 賢	役職名	代表取締役社長		
主たる事務所の所在地	東京都渋谷区道玄坂 1-21-1					
主たる事業の分類	大分類	M 宿泊業、飲食サービス業				
	中分類	75 宿泊業				
主たる事業の概要	ホテル営業					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	k1	1,790	1,736	1,328	1,464	1,668
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	3,947	3,828	2,925	3,243	3,711
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	0		0	0	0
自動車の台数	台	17		18	17	17
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	51				

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2019	年度
------	------	----

計画期間	2020 年度～	2022 年度
------	----------	---------

報告対象年度	2022	年度
--------	------	----

3 計画書（報告書）の公表方法等

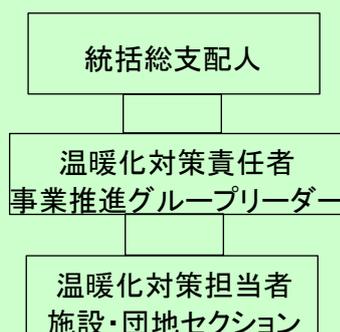
<input checked="" type="checkbox"/>	ホームページ	https://www.tangram.jp/
<input type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

様式1号
(総括票)

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

省エネ法の判断基準に基づき管理標準を整備し、それに基づいた省エネルギー運動を展開する。5年度間の平均原単位削減率1%以上を目標とする。

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

省エネルギー委員会 1回/月

様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	3,947	t-CO ₂	売上高	1,777.00	単位	百万円
2019年度	調整後排出量	3,947	t-CO ₂	基準原単位	2.22	t-CO ₂ /	百万円
目標年度	目標排出量	3,828	t-CO ₂	目標原単位	2.15	t-CO ₂ /	百万円
2022年度	目標削減率	3.01	%	目標削減率	3.00	%	
目標設定に関する説明	省エネ法の判断基準に基づき管理標準を整備し、それに基づいた省エネルギー運動を展開する。3年度間の平均原単位削減率1%以上を目標とする。						
第一年度	排出量	2,925	t-CO ₂	売上高	988.00	単位	百万円
	削減率	25.89	%	原単位	2.96	t-CO ₂ /	百万円
2020年度	調整後排出量	2,925	t-CO ₂	原単位削減率	-33.34	%	
	削減率	25.89	%				
排出量等の増減理由	コロナウイルスによる影響により前年度に対する売上が事業所全体で減少した為。又感染対策により空調機の稼働時間・台数は10%~20%程度増加し、エネルギー使用量の増加要因となった。						
第二年度	排出量	3,243	t-CO ₂	売上高	1,349.00	単位	百万円
	削減率	17.83	%	原単位	2.40	t-CO ₂ /	百万円
2021年度	調整後排出量	3,243	t-CO ₂	原単位削減率	-8.11	%	
	削減率	17.83	%				
排出量等の増減理由	コロナウイルスによる影響により例年に対する売上が事業所全体で減少した為。又感染対策により空調機の稼働時間・台数は10%~20%程度増加し、エネルギー使用量の増加要因となった。						
第三年度	排出量	3,711	t-CO ₂	売上高	2,026.00	単位	百万円
	削減率	5.97	t-CO ₂	原単位	1.83	t-CO ₂ /	百万円
2022年度	調整後排出量	3,711	t-CO ₂	原単位削減率	17.56	%	
	削減率	5.97	%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由	コロナウイルスによる影響で減少していた来客数が増加し、事業所全体の売上が回復した。又空調機の稼働時間・台数は感染対策として前年並みに稼働。当初設定した目標は達成している。						

様式1号
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位	
2019 年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022 年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2020 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2021 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2022 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	51	t-CO ₂			単位	
2019年度				基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2020年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2021年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	削減率		%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I～II	I-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	I-2	エコドライブの励行						
III	III-1	次世代自動車の導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	区分 番号	対策内容	計画		状況	
				実施予定 年度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施 年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	120201	吸収式冷温水機2台更新	2020	93	2020	52.03
2	エネ起	120201	真空式ヒーター 3台更新(3台→2台へ更新)	2021	95	2021	55
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							

9 自然エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

様式1号
(総括票)

10 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満	1	3,947					1	3,711
1,500k1未満			1	2,925	1	3,243		
合計	1	3,947	1	2,925	1	3,243	1	3,711

11 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂				
CH ₄				
N ₂ O				
HFC				
PFC				
SF ₆				
NF ₃				
合計	0	0	0	0

12 次世代車使用台数等の導入状況 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車				
その他 (ハイブリッド等)				
合計	0	0	0	0
自動車総数	17	18	17	17
次世代車導入割合				

様式1号
(総括票)

1.3 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	出張時は公共交通機関の利用促進
自転車の利用促進	
来客者の交通対策	<ul style="list-style-type: none"> ・長野駅及び最寄り駅からのシャトルバス運行 ・電気自動車利用拡大を睨み、現在充電設備の設置を検討している。
物流の合理化	

1.4 環境配慮活動状況

環境配慮活動	活動内容の詳細			実施年度
	実施内容			
<input checked="" type="checkbox"/> SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している			2021年度
<input type="checkbox"/> 環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している			
	名称			
<input type="checkbox"/> TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 支持を表明している			
<input type="checkbox"/> グリーンボンド	グリーンボンドを発行している			
<input type="checkbox"/> ESG投資	ESG対話プラットフォームに登録している			
<input type="checkbox"/> SBT	SBT を策定済、またはコミットしている			
<input type="checkbox"/> RE100	<input type="checkbox"/>	RE100にコミットしている		
	<input type="checkbox"/>	再エネ100宣言RE Action へ参加している		
<input type="checkbox"/> その他				

1.5 自由記載欄

<p>1. 月一回の省エネルギー会議の開催。エネルギー成果を公表し情報を共有化、横断的な実施。</p> <p>2. 施設管理セクションによる巡回実施、点灯ルール、設定温度の状況を確認。</p> <p>3. 空調機の季節毎における稼働スケジュール見直し。</p> <p>4. 事業所全社員に省エネの啓発活動として省エネアンケートの実施。</p> <p>5. 事務室等の省エネ啓発ポスター掲示。</p> <p>6. 繁忙期に於いては常用発電機2台を運転し、電力デマンドのピークカットを実施。</p> <p>7. 中部電力とのデマンドレスポンス契約締結。</p> <p>発令時は営業状況を考慮の上、電力消費量の大きい水冷式チラー(冷房機)の停止措置を可能な限り実施する。</p>
--